

# スクランブル

徳島県 大麻町商工会女性部

## 映画ロケに炊き出しで協力

あったか八丁鍋はスタッフに大受け

11月18日、町内のオープンロケセットで『バルトの楽園』徳島ロケが行われ、昼食時に商工会女性部が炊き出しをして大好評を博した。

ドイツ兵捕虜が収容所で家族と対面する場面では、ドイツ

人将校の夫人役が美しい衣装で登場し、華やかな雰囲気にもまれた中、炊き出しで提供したのは「八丁鍋」。特産のなると金時芋にウィンナーなどを加え、洋風にコンソメ味で煮込んだ。

エキストラのゲスト・クリストさんらは「温かくておいしい」と舌鼓を打ち、用意した230食分は30分ほどでなくなった。

また、セット沿いの道路には家族連れなどが見学に訪れ、人力車や昔の家の造りに「本物みたい」と嘆声をあげていた。



栃木県 芳賀町商工会

## 乗り合いタクシー人気上昇

定着済み利用者倍増

栃木県芳賀町と市貝町の一部で運行している「ふれあいタクシー・ひばり」が次第に定着し、9月の一般利用者は1,024人、1日平均34人と、スタート当初に比べて倍増した。

交通弱者対策として発足した「ひばり」は低額運賃が特徴で、県内初の乗り合い方式。現在、利用者の6割が70歳以上の高齢者で、行き先は5割が病院、商店と公共施設が約2割ずつとなっている。

利用者の目標は1日50人。乗り合いといっても、客の目的地や予約時間の関係で単発輸送を繰り返すことも多い。町では、利用者の増加と乗り合い率の向上が課題としている。

「ひばり」を足代わりに利用する新しいサービスとして取り入れる商店も出てきており、商工会も「ひばり」を活用するサービス提供店を募り、連携情報発信を検討していく。

愛媛県 城辺町商工会

## 商工まつり開催

物産市に郷土芸能、グルメも満喫

城辺商店街(南宇和郡愛南町)活性化と特産品・地場産業の振興をアピールしようと、11月13日、「商工まつり きちんない城辺」が開かれた。

商工会などで組織する実行委員会が毎年開催するもので、メイン会場の諏訪神社境内では、戻りガツオをたっぷり使ったどんぶりや、魚・野菜などを大鍋で料理したふるさとグルメが振る舞われ、農産物や水産加工品の物産市が並んだ。

荒獅子や神楽などの郷土芸能も競演し、訪れた人は地元の味を堪能しながら、盛大な拍手を送った。



熊本県 宇土市商工会青年部

## ウトレンジャーは人気者

青年部がTシャツを作成・販売

不景気と戦い、商店街のPRをしようと、商工会青年部(西村勝徳部長)が結成した「商工宣隊ウトレンジャー」が、ウトレンジャーのキメポーズのイラストとロゴを入れた子ども用のTシャツを作成した。

赤・青・黄色それぞれの服を着た「ウトレンジャー」は、昨年の「産業祭わいわいフェスタ」でデビュー、保育園やショッピングセンターの催しにも出演し、子どもたちの人気を博している。

Tシャツのイラストやロゴは、ウトレンジャーを応援したいと看板製造業・前田史朗さんが描いた。

80枚作成し、「わいわいフェスタ2005」でも発売された。1枚1,500円。



青森県 階上町商工会

## 「はしかみ海盛りパック」販売

海の幸セットを贈答品にどうぞ

階上町商工会スタンプ会は、町内の団体・水産加工会社が生産する名物の水産加工品を詰め合わせた「はしかみ海盛りパック」販売を12月5日から開始、贈答品として広く使ってほしいとPRしている。

「今まで道の駅などでも販売してきたが、セット販売はしていなかったので、贈答品には弱かった」(経営指導員・井上英治さん)ことから、いちご煮の缶詰1缶、コンブ入りの海藻ラーメン5個、フノリ20g・塩ワカメ100g・海藻サラダ20gの海藻3種詰め合わせをパックした。

特産品の販路拡大と商工会加盟店の販売促進をねらいとして準備を進めてきたもので、商工会事務局が詰め合わせ・包装などを行う手作りのため、当面は500パックの販売を目標としている。

商工会加盟25店で店頭販売するほか、通信販売も行う。1パック2,800円(税込み、送料別)。



## 広島県 作木商工会女性部 無添加ポン酢、大幅増産 春に続いて今冬もこだわりの1品

収穫期を過ぎても農家の庭先に実ったままのユズを生かそうと、商工会女性部がポン酢作りに取り組んでいる。食生活の変化で最近では使い道がなくなっていたユズは、在来種で汁気は少ないが、空気のきれいな町ならではの風味がある。

春に作った200本のポン酢は口コミで半月で売り切れ、今季は夫たちも手伝って約3,000個のユズを収穫した。皮の渋みが入らないよう手搾りし、添加物を加えない自然の味わい。町内の加工施設で瓶詰めし、ラベルを張って完成した。

このポン酢は、14商工会で作る備北地区商工会女性部連合

会の「1商工会女性部1品」の1つに名を連ね、交流施設「川の駅常清」や町の小売店で販売するほか、広島市内でも販売する。200mlで420円。

横岡宏子女性部長は「爽やかな味なので、鍋物だけでなく、お刺身、サラダのドレッシングとしてもピッタリです。このポン酢でなきやいけんというファンを増やしていきたいですね」と意気込んでいる。



## 滋賀県 瀬田商工会 防犯コーン設置 子どもの安全守ろう!

大津市瀬田川以東の6学区をエリアとする瀬田商工会は、子どもが不審者に声をかけられた時に逃げ込む場所の目印になる「防犯コーン」を、加盟全店舗の800店舗・事業所に設置する予定。



防犯コーンは1本約2,000円。大津署で導入したコーンを現在は設置していない店が多いが、商工会は今回まず50本を購入し、JR瀬田駅周辺の25店舗に設置した。

西邑孝事務局長は「商工会も地元の子どもの安全にひと役買いたい」と話しており、大津署も「子どもの安全が一層高まる」と期待している。

## 秋田県 かつの商工会 野球人生、大いに語る 石井浩郎さんの講演会を開催

12月10日、鹿角市鹿角地域広域交流センターにおいて、鹿角地域3商工会合併によるかつの商工会発足3年を記念し、元プロ野球選手・石井浩郎さんを招いて講演会を開催した。

石井さんは秋田高から早大へ進み、平成元年に近鉄に入団、西武の東尾修さん(当時)から「ねらったところに行くのは130球のうち30球くらい。真ん中だけねらっていればいい」とアドバイスされ、開き直って調子が上がったことなど、裏話もまじえてプロ野球人生を語った。

現在の若手選手の印象は「ギラギラしたものが足りないのでは」、今後の球界復帰については「今は会社を持っているので、まず会社をしっかりさせたい」と語り、地元の野球部員の中学生には「冬が厳しいこの地からも、プロをめざす選手が出てほしい」とエールを送った。

講演後には中学生から花束を贈られ、200人の参加で講演会は盛況裏に終了した。



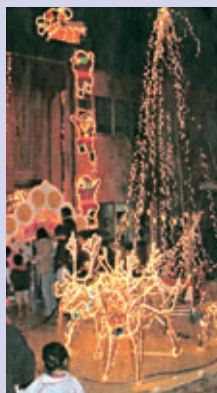
## 鹿児島県 吾平町商工会青年部 イルミネーション華やか 青年部が手作りでクリスマスを飾る

11月28日、商工会館をサンタクロースやトナカイの親子、高さ7mのクリスマスツリーなどで彩るクリスマスイルミネーションの点灯式が行われた。

商工会青年部とそのOBらが仕事の合間などに10月から準備してきたもので、電球3万5,000個を使い、「おかしな家」は廃材を利用するなど、手作りの中にも工夫を凝らした。

点灯式には保育園児や小学生も参加し、ダンスや合唱を披露、また地元バンドの演奏なども行われ、大勢の町民で賑わった。

12月25日と31日はオールナイトで、その後1月15日まで午後5時半から11時まで町を温かく照らした。



## 高知県 越知町商工会 「おなばれ」3年ぶりに 商売繁盛、無病息災願い練り歩く

11月10日、高岡郡越知町で、商売繁盛・無病息災を願って練り歩く「おなばれ」が、商工会関係者ら230名の参加で行われた。

これまでも商工会青年部の主催で毎年実施してきたが、2年連続で雨天中止となり、晴天に恵まれた今年は3年ぶりの開催となったもので、今回は商店街近くの老人ホームの訪問も行った。

初参加の越知中学校吹奏楽部マーチング隊を先頭に、ハッピー姿の児童らが元気な掛け声をかけながら神輿を引き、大人たちは神官や天狗・鬼などに扮し、町の中心部3kmをにぎやかに往復した。

